

# 東都大学図書館通信（深谷キャンパス）

## Event Report 🌟

### 「この一冊を図書館に！」 学生選書ツアーを開催しました

2025年9月16日、紀伊國屋書店新宿本店にて、学生が図書館に置いてほしい本を自ら選ぶ「学生選書ツアー」を開催しました。参加した学生たちは、書棚の前で実際に本を手に取りながら、真剣な表情で一冊一冊を選んでおり、普段とは少し違う“選ぶ側”の体験を楽しんでいる様子が印象的でした。「とても楽しかった」「面白そうな本を自由に選べてよかった」「選びたい本が多くて迷った」といった感想も寄せられ、充実した時間となったようです。ツアー中には先生方との本に関する会話が交わされ、皆さんが日頃から多くの本に親しんでいる様子や、本への関心の高さが伝わってきました。図書館では、学生選書コーナーを設け、選ばれた本を展示します。また、2026年のゴールデンウィーク頃には、紀伊國屋書店新宿本店にて、今回の学生選書ツアーで選ばれた本のPOP展示会を開催予定です。詳細は、改めてご案内いたします。



## Historical Heroes 🌟

### 黒田チカ～色と化学の先駆者～



黒田チカ

出典：国立国会図書館「近代日本人の肖像」  
(<https://www.ndl.go.jp/portrait/>)

黒田チカは日本初の女性化学者で、女性が自由に学び活躍することが難しかった時代に先駆的な功績を残しました。佐賀市に生まれ、父の影響で学問の道へ進み、1913年に東北帝国大学の初の女性学生として入学。大学では紫根の天然色素・シコニンの研究に取り組み、結晶化に成功しました。その後、英国留学を経て女子高等師範学校教授となり、理化学研究所で紅花の色素構造を解明。1929年には化学分野初の女性理学博士となりました。戦後はタマネギの皮に含まれるケルセチンに注目し、高血圧治療薬「ケルチンC」の開発に貢献。1964年には彼女の人生を描いたNHKドラマ「たまねぎおばさん」が放映され、主演は市原悦子さんが務めました。ケルセチンは現在もサントリーの「特茶」などに活用される身近な健康成分です。

## Book Picks 📖

### 無感情の僕に、心が生まれた日。



アーモンド

(ソン・ウォンピョン 著/  
矢島暁子 訳/祥伝社)

生まれつき脳の「扁桃体」（アーモンド）が小さく、怒りや恐怖などの感情を感じにくい16歳の高校生・ユンジェ。祖母が彼を「かわいい怪物」と呼ぶ一方で、母は彼が普通に見えるよう、「相手が笑ったら微笑む」「褒められたら「ありがとう」と言う」など、幼い頃から感情の訓練を行いました。ある日、祖母と母が通り魔に襲われる事件が起こりますが、ユンジェはその瞬間も静かに見つめることしかできません。突然ひとりぼっちになった彼の前に現れたのは、激しい感情を持つ同級生のゴニでした。正反対の二人の出会いは、ユンジェの心に少しずつ変化をもたらします。感情を理解しようとするユンジェの姿には胸が熱くなるばかりで、彼の成長と未来を見届けたくなる作品です。

## Touching Words 🌟

### ことばの贈り物～本の中から～



大切を抱きしめたい  
お守りのことば

(松浦弥太郎 著/リベラル社)

言葉の使い方は生き方です。

『大切を抱きしめたいお守りのことば』（p.6）

言葉は人の心を温かくすることもあれば、傷つけてしまうこともあります。伝え方次第で伝わる意味は変わるかもしれません。皆さんは日頃、どのように言葉を使っていますか？ 心のお守りとして、そばに置いておきたい一冊です。

## Book Picks 📖

### 暮らしにとけこむ、やさしい薬膳



1日ひとつ、疲れが消える  
おいしい漢方365

(久保奈穂実 著/世界文化社)

暮らしに薬膳や漢方を取り入れたいと考えている皆様へ。漢方アドバイザー・久保奈穂実さんの著書『1日ひとつ、疲れが消える おいしい漢方365』は最初の一步にぴったりの本です。久保さん自身の経験とカウンセリング実績がもとになっている、1日1テーマ365日分の優しい養生法は、「これならできそう」と思わせてくれるものばかり。身近な食材で簡単に作れる薬膳レシピも113点収録されていて、「自分で自分の心身を元気に保つ」方法が満載の一冊です。おらが漢方生活、始めてみませんか？



Teacher's Picks

喜多川泰 著『手紙屋〜蛭雪篇』

在宅・地域看護学領域 福澤知美



手紙屋〜蛭雪篇

（喜多川泰 著 / ディスカヴァー・トゥエンティワン）

今、皆さんは何のために勉強していますか？

学生だから仕方なく勉強しているという人、看護師になるため、管理栄養士になるため、など目的が定まっているから勉強しているという人、など理由はそれぞれだと思います。正直、私が学生だった頃も、テストがあるから、看護師になりたいから、という理由で勉強していたような気がします。私はこの本を読み、学生の頃この本に出会えていたら、もっとモチベーション高く楽しく勉強できていたかもしれない、と悔しくなりました。そのくらい、この本は勉強することの意味を分かりやすく教えてください。

この本の主人公は高校生なので、皆さんのように目指す職業が決まっているわけではなく、進路に悩み、大学へ行くことの意味を考えなければならない状況でした。勉強する気も起きず、やる気もなく、様々なことを悩む中で、手紙屋という人と繋がります。その人と手紙のやり取りをする中で、勉強する意味を見出し、本当の勉強意欲がわいてきて、進路を自身で決めることができます。そして、手紙屋さんから問われていることを見出す中で、楽しく勉強できるようになり、希望する大学への進学が決まります。この本は勉強することの意味について、ただ進学するため、目指す職業になるため、だけでなく、もっと大切な本質的な部分の意味を教えてください。さらに、勉強だけでなく、これからの人生の指針にもなることも書かれています。

勉強は、これから生きていく上で常に必要な道具（この本を読むと意味が分かります）です。例えば、私は今、教員として働く中で、教育に関することや看護のことなど、新しい情報を学んでいます。さらに母として、幼児の子育てをする中で、育児に関することなども学んでいます。このように、勉強できているのはなぜなのか、私も皆さんと同じ学生の頃には理解できていませんでしたが、様々な人生経験の中で、少しずつ勉強することの意味を見出したように感じています。そして、この本を読み納得できました。

今まで本を読むのは苦手と思っていた方も、ぜひ、だまされたと思って、この本を手にとってみてください（図書館に寄贈させていただきました）。一人でも多くの方が、勉強したくなりますように・・・。

Art & Culture オルセー美術館所蔵 印象派一室内をめぐる物語



フランス・パリの名門、オルセー美術館が誇る印象派コレクションを中心に、「室内」をテーマにした作品を紹介する展覧会「オルセー美術館所蔵 印象派一室内をめぐる物語」が、2025年10月25日より国立西洋美術館で開催されます。マネ、ドガ、モネ、ルノワール、セザンヌなど、印象派を代表する画家たちは、戸外の光景だけでなく、家庭やアトリエといった室内空間にも深い関心を寄せ、そこに暮らす人々の姿や、心の機微を繊細に描き出しました。本展では、「印象派の殿堂」オルセー美術館から、日本初公開作品を含む約70点が来日。印象派の新たな魅力を紹介します。これほどの規模での来日はおよそ10年ぶり。華やかで親密な「室内」の物語を、珠玉の名品とともに体感してみませんか。特別なひとときを。

**作品：**ビエール＝オーギュスト・ルノワール《ピアノを弾く少女たち》1892年 油彩/カンヴァス 116×90cm オルセー美術館、パリ © Grand Palais Rmn (musée d'Orsay) / Hervé Lewandowski / distributed by AMF **会場：**国立西洋美術館 [東京・上野公園] (〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7) **会期：**2025年10月25日(土)～2026年2月15日(日) **開館時間：**9:30～17:30 (金・土曜日は9:30～20:00) ※入館は閉館の30分前まで **休館日：**月曜日、11月4日(火)、11月25日(火)、12月28日(日)～2026年1月1日(木・祝)、1月13日(火) ※ただし、11月3日(月・祝)、11月24日(月・休)、1月12日(月・祝)、2月9日(月)は開館 **観覧料：**一般2,300円、大学生1,400円、高校生1,000円 ※中学生以下、心身に障害のある方及び付添者1名は無料。(学生証または年齢の確認できるもの、障害者手帳をご提示ください) ※大学生及び高校生の方は、入館の際に学生証をご提示ください。 **展覧会公式HP：** <https://www.orsay2025.jp/> **展覧会公式X：** @orsay2025 **展覧会公式Instagram：** orsay2025 **国立西洋美術館公式HP：** <https://www.nmwa.go.jp/> ※最新の情報は展覧会公式HPをご覧ください。

More Book Picks

お寿司のこと、どれくらい知っていますか？



すし図鑑ミニ プロもビックリ!!  
(ぼうずコンニャク 藤原昌高 著 / マイナビ出版)

代表的なネタを写真付きでわかりやすく紹介する『すし図鑑ミニ』は、全333貫のネタを1ページ1貫で掲載。魚の名前や見た目、使われ方がひと目でわかり、寿司好きな人はもちろん、魚や食の勉強にもお助めの一冊です。著者・藤原昌高さんのペンネーム「ぼうずコンニャク」は実在する魚の名称で「手に入れたくてもなかなか手に入らない比較的珍しい魚」なのだそう(p.261)。本書を読み砕いていくと、魚やお寿司の奥行きある世界に魅了され、これまで以上に、お寿司を楽しく味わえそうです。

More Book Picks

今日も少し、自分に優しく。



毎日みだけ!  
自己肯定感365日BOOK  
(中島肇 著 / SBクリエイティブ)

『自己肯定感365日BOOK』は、毎日を前向きに過ごすアイデアが詰まった一冊です。自己肯定感は生まれた時から私たちの中にあり、小さな行動の積み重ねで高めることができるそう。本書では、心が揺れた時やモヤモヤする時に効く言葉、心を整えるコツなどを紹介。「ありがとうを増やす」「笑顔で接する」「空を見上げる」など、日常ですぐに実践できる工夫が満載です。自分に優しくなりたい方にぜひ届けたい本です。

Topics

実習・レポートに活用！電子図書館のススメ



東都大学では電子図書館「Maruzen eBook Library」を導入しています。学内はもちろん、事前に利用登録をすれば学外からもアクセス可能です。知のお供に。

Editor's Note & News

まだまだ暑さは残りますが、季節は少しずつ読書の秋へ。物語の世界にふれるひとときは、日常を豊かにしてくれます。この秋は、お気に入りの一冊を見つけて、読了の喜びを味わってみませんか。心に残る言葉との出会いが、きっとあるはずです。静かな読書時間をぜひ楽しんでください。